

議会運営委員会 行政視察報告

4月25日から26日にかけて、委員5名、正副議長、事務局随員2名の合計9名で、長野県飯田市・岐阜県可児市を視察してまいりました。

■長野県飯田市

【議会改革の取組について】

飯田市議会における議会改革の取組については、全国の地方議会の中でもいち早く着手しており、平成14年に「飯田市議会在り方研究会」の設置・研究を皮切りに現在に至っています。

この中でも、平成16年には、全国で初めて議会による市民会議を立ち上げ、自治に関する市民の意見をまとめました。

そして、その中の意見を基本としながら、平成18年には「飯田市自治基本条例」を議会議案として上程・可決し、平成19年4月に施行しています。

加賀市において、平成23年4月に「加賀市議会基本条例」を施行したことから比較しても、議会改革に関する取組は、先進的といえます。

また、議会改革に当たっては、『くらし豊かな いいだの未来を市民とともに』市民のしあわせに貢献する議会をスローガンに掲げ、改革を止めることなく現在に至っています。なかでも、議員

行政視察報告

力・議会力の向上を図りながら、政策立案・提言につなげている取組についても参考にしていきたいと感じました。

【地方議会評価モデルの取組について】

飯田市議会では、さらなる議会改革を進めることを目的に、令和4年度からは、「地方議会評価モデル」を導入しています。

これは、議会に求められる役割（ミッション）を踏まえて、実現すべき理想的な姿（ビジョン）に近づくために、活動目標（アクション）を明確化し、取組を進めるものであり、公益財団法人 日本生産性本部のアドバイスを受けながら、進めているとのことでした。

様々な議会改革の取組が、多様化する市民ニーズに対応しているのか、また住民福祉の向上につながっているのかを検証する上でも有用な手段であると感じました。

飯田市議会の今後の検証結果を参考にしながら、加賀市議会にお

ける導入の可否についても検討していきたいと思えます。



▶ 飯田市

■岐阜県可児市

【議会改革の取組について】

可児市においては、急速な高齢化や若い世代の都市部への流出など、加賀市と同様の地域課題を抱えています。

また、可児市議会は、様々な議会改革に取り組んでいる地方議会の一つであり、特に若い世代との交流に注力しているとのことでありました。

中でも、議会と、地元の医師会や商工会議所などの団体と、地元高校生による地域課題懇談会では、可児市における健康づくりや、住み続けたいまちづくり、高校生が求める企業についてなど、

活発な意見交換が行われているとのことでした。

また、若い世代の投票率の向上のため、地元高等学校が主催、市選挙管理委員会及び議会が共催で、模擬選挙を行っています。ここでは、市職員を立候補者に見立て、ポスターの作成、立会演説会、マニフェストの検証、投・開票など、実際の選挙を想定した内容で行っているとのことであり、大変興味深い内容でありました。



▶ 可児市

■視察を終えて

円滑な議会運営及び、さらなる議会改革を進める上で、今回の視察で学んだことを、今後の議会運営に活かしていきたいと思えます。